

「スタートアップ・大学を中心とする知財エコシステムの在り方に関する検討会」の開催について

内閣府知的財産戦略推進事務局

1. 目的

- 近年、ディープテックやバイオメディカル分野のイノベーションの重要性が高まる中、これらの分野のイノベーション機能を担うスタートアップにとって、知財戦略はビジネスの成否を分ける決定的なポイントである。
- 今後、日本全体のイノベーションを活性化させていくためには、大企業や大学に蓄積されている優れた知財を「見える化」し、機動性・迅速性の高いスタートアップにおいて知財を「フル活用」して技術の社会実装による事業化を進め、新たなビジネスの創出・拡大をもたらす知財エコシステムの構築が必要とされている。
- そこで、スタートアップを始め、大学や大企業等、知財エコシステムに係る関係者における課題を洗い出し、同課題に対する対応策を幅広い視座から検討することを目的として、「スタートアップ・大学を中心とする知財エコシステムの在り方に関する検討会」（以下「本検討会」という。）を開催する。

2. 委員

- 本検討会の構成員は、別紙のとおり。ただし、知財エコシステムの強化に関し優れた識見を有すると認められる者を追加することを妨げない。

3. 主な検討事項

- スタートアップの知財戦略の支援サービスのエコシステム化
- 大学からスタートアップへの技術移転を巡る障壁除去
- 大企業による経営アセットのスタートアップへの提供促進
- 知財の見える化を起点としたマッチング・エコシステムの構築 等

4. スケジュール

- 2022年2～4月にかけて月に2回程度開催予定。2022年4月にとりまとめを行い、その結果を構想委員会に報告する予定。

5. その他

- 委員による率直かつ自由な意見交換を確保するため、本検討会は非公開とするものの、資料及び議事概要は原則公表する予定。
- 本検討会は、必要があると認めるときは、参考人を招いて意見を聞くことができる。
- 本検討会の庶務は、関係行政機関の協力を得て、内閣府知的財産戦略推進事務局において処理する。
- 本検討会の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。